

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-221575(P2003-221575A)

【公開日】平成15年8月8日(2003.8.8)

【出願番号】特願2002-23183(P2002-23183)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 K 3/10

【F I】

C 0 9 K 3/10

G

【手続補正書】

【提出日】平成17年1月5日(2005.1.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

架橋性シリル基含有有機重合体(A)と、1分子中に2つ以上の1級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20%、60%RHの大気中において24時間で、10%以上(アミノ基を基準)である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも1つを有するアミン化合物(B)とを含有するシーリング材組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(1) 架橋性シリル基含有有機重合体(A)と、1分子中に2つ以上の1級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20%、60%RHの大気中において24時間で、10%以上(アミノ基を基準)である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも1つを有するアミン化合物(B)とを含有するシーリング材組成物。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明のシーリング材組成物について詳細に説明する。

本発明のシーリング材組成物は、架橋性シリル基含有有機重合体(A)と、1分子中に2つ以上の1級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20%、60%RHの大気中において24時間で、10%以上(アミノ基を基準)である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも1つを有するアミン化合物(B)とを含有するシーリング材組成物である。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

上記アミン化合物(B)は、1分子中に2つ以上の1級アミノ基を有し、炭酸ガスとの反応が、20%、60%RHの大気中において24時間で、10%以上(アミノ基を基準)である脂環式、ヘテロ環および芳香環からなる群より選択される少なくとも1つを有するアミン化合物である。

ここで、炭酸ガスとの反応が、20%、60%RHの大気中において24時間で、10%以上(アミノ基を基準)であるとは、アミン化合物150mgを2cm²の広さにひろげた後、20%、60%RHの大気中において放置し、下記式(6)に示す炭酸ガスとの反応によるカルバミン酸の生成収率が、24時間で10%以上であるということである。